

パーク講座 わくわく自然探検

幼児＆親子で楽しむ自然あそび～頭も身体も心も動く～

長谷川依子（松戸市）

日 時：2025年5月24日（土）10時～12時、天気：曇り

場 所：21世紀の森と広場 みどりの里付近（松戸市）

参加者：12名（1～4歳の幼児5名、大人7名）

講 師：櫛田・長谷川、スタッフ：渋谷・宮崎・三嶋

今回の狙いは、幼い子どもたちに五感を通じて自然とふれあう楽しさを伝えること、またそれ以上に保護者自身が身近な自然の魅力に気付き、子どもの発見や感動を共感することで子どもたちの「センス・オブ・ワンダー」を育むことのきっかけとなる観察会にしたいということでした。

対象は初めての試みで未就学児の親子、実際は1～4歳の想定以上に幼い親子だったので、活動エリアはコンパクトにし、幼い子が多いので、わらべうたを間に挟む工夫をしました。

初めにわらべうたで鬼決めの後、「スギナのどこどこついだ？」遊びから。全員が手を出して小さな円陣を作ったことでまとまり感が出て順調なスタート。ついだのど～こだ？の当てっこ遊びで盛り上がり、スギナを知らないママさんもいらっしゃる中、子どもたちは真剣な眼差しでスギナの節を観て…大当たり！その集中力と観察力に、保護者の方々からも感嘆の声が上がりました。

続いて、わらべうた親子遊びで移動しながらオオシマザクラの実の観察へ。「食べられますよ」と声をかけると、殆どの親子がへえ～？と口に含んだ後、「におい探検」へ。普段は気付かぬ様々な植物の匂いの体験です。ゴマキの葉には「ゴマの香り！」と親子で鼻を近づけ香りを確かめ合う姿が見られ、目を瞑つてもらってのドクダミの若葉には、「臭い」という声の隣で「レモンの香り！」と表現する3歳児も。同じ植物でも感じ方が多様であることに大人も気づかされました。ヨモギやクサギの匂いにも様々な表現が飛び交い、普段意識しない植物の匂いをじっくりと嗅ぎ分ける体験となりました。クワの実を観察しながら、初めて～！甘い！酸っぱ～い！と楽しそうに食べる親子たち、ヨチヨチの1歳児も「美味しい」とばかりに口元に手をやる仕草を見せてくれました。既に五感の内、3つは全開です！

シロツメクサの輪っかの魔法を伝授し、ヤツデとアオキの葉っぱでお顔づくりに挑戦。思い思いに花を目に見立て、全員が創造力を働かせながら真剣にユニークな顔作り。タンポポのお目々に拘った男の子のヤツデは迫力ある顔になりました。皆なでそれらを並べて鑑賞し合う時間も笑顔でした。

休憩を挟んで後半は「お花や葉っぱで色あそび」。小さな画用紙に草花を擦りつけると、黄色や緑、ピンク、紫など想像以上に美しい色が浮かび上がり、歓声が上がりました。これがきれいだと教えあう声、オオイヌフグリのブルーには、わあ～と！と驚きの笑み。作品を見せ合う嬉しい時間となりました。

たんぽぽのわらべうたで親子が体を動かして遊んだ後、自然あそびの注意点や自然を感じるためのヒントをお伝えし、「非認知能力」や「センス・オブ・ワンダー」に自然体験が子どもたちの心身の成長にどう繋がるかをお話しした後、感想を伺うと、子どもたちは楽しかったとニコニコ顔。保護者からは「何もないと思っていた場所に、こんなにもたくさんの発見があった」「いつも遊具のある公園で遊んでいるので、何もない今日は楽しめるのか心配だったが、子どもがとても楽しそうにしていたので驚いた」との声。小さな折本をお土産に、わらべうたを歌ってお別れしました。

自然あそびが嬉しいと感じてくださったことは、日々の生活の中で親子と一緒に自然と触れ合い、感動を分かち合うきっかけとなればと、試行錯誤しながら考えてきた担当した私たちにとって大きな喜びです。今後もこのような観察会を継続できればと思います。

